

## 人口と世帯数 (2月1日現在)

|     |         |       |
|-----|---------|-------|
| 人口  | 3,316人  | (-15) |
| 男   | 1,635人  | (-10) |
| 女   | 1,681人  | (-5)  |
| 世帯数 | 1,353世帯 | (-7)  |

※( )内は、前月との比較

## 納税等

★印が3月に納めていただく税等です。

|     | 村県民税 | 固定資産税 | 軽自動車税 | 国民健康保険税 | 介護保険料 | 後期高齢者医療保険料 | 上下水道使用料 |
|-----|------|-------|-------|---------|-------|------------|---------|
| 4月  |      |       | ●     |         |       |            |         |
| 5月  |      | ●     |       |         |       |            | ●       |
| 6月  | ●    |       |       |         |       |            |         |
| 7月  |      | ●     |       | ●       | ●     | ●          | ●       |
| 8月  | ●    |       |       | ●       | ●     | ●          |         |
| 9月  |      |       |       | ●       | ●     | ●          | ●       |
| 10月 | ●    | ●     |       | ●       | ●     | ●          |         |
| 11月 |      |       |       | ●       | ●     | ●          | ●       |
| 12月 |      |       |       | ●       | ●     | ●          |         |
| 1月  | ●    | ●     |       | ●       | ●     | ●          | ●       |
| 2月  |      |       |       | ●       | ●     | ●          |         |
| 3月  |      |       |       | ★       | ★     | ★          | ★       |



税金は 社会を支える あなたの会費



## みんなの広場

### たかやまの文壇

#### 一月句会

振り袖の賀状の届く孫二十歳  
なすなつむ万葉人を想いつつ  
まゆ玉や戸口を守る女正月  
わが八十路転ぶな忘るな去年今年  
木枯は泣いて山河を越えにけり  
枯尾花祖母と来た道遠かな日  
剪定は昼の陽の中独り唄  
咲く花の色は皆黄早春は  
初春や友の笑がをに遠会釈  
初せりはまぐろ一匹三千六百五十万円  
人日や外れてならぬ人の道  
山寺に人影もなく笹子鳴く  
明日は七草懐中電灯で芹をとる  
野良猫に優しいき嫗年暮るる  
正月を祝う卒寿や不思議力  
初日記次は白寿と卒寿書く

#### 折句

海の音砂丘に立ちて聴く小春  
梅の花咲いてうれしい昨日今日  
うらぶれてさ迷う日々や黄水仙  
うぐいすのさえずり遠く餃子食う  
鶯替えにさらなる待み活に  
うさぎ年さらに跳躍今日からは  
ウクライナ寒さと飢えの犠牲者よ

#### 二月句会

早春の旗手となり咲く福寿草  
雪解けに合わせ肥料を撒きこくる  
マンホール蓋の星の絵冴え返る  
雪しろの山路流るるにはたすみ  
静寂に沈む一村雪の中  
花だより寒村の春まだ遠し  
庭にくる仲良き目白いつも二羽  
短か月あつという間に二月尽  
春色のポット茶の間に仲間入り  
花馬酔木園児等の声はすみお  
ウクライナと平和切なり冬銀河  
もがり笛足腰ゆらく生も死も  
不思議なる世界の空に気球出る  
寒き夜大なかえおきり込み  
卒業式間近マスクの賛否論  
冬木立秘めたる春の息吹かな



#### 蛙声会

節子

朝郎

泰枝

良教

紫雲

あきを

キヨ子

昭典

あきを

朝郎

良教

昭典

節子

あきを

泰枝

昭典

節子

朝郎

紫雲

キヨ子

1/20

## 群馬県教職員表彰において高山 小学校教職員が表彰されました!!

去る1月20日(金)、高山小学校の教職員が「群馬県の教育の充実発展のために優れた取り組みを行い、特に顕著な功績をあげられた」として、群馬県教育委員会から表彰されました。

今回の受賞は、GIGAスクール構想による1人1台端末の導入において、教職員が一丸となって研究や研修に取り組むなか、職員室内に端末利用時の課題とその解決方法を書き込む掲示板を設置し教職員のICTスキルを高め、教職員全体の実践力向上を図ったり、「いつでも、誰でも、何度でも」をキーワードに、ICTの継続的・発展的な活用促進や、「デジタル情報部」を新設し校内体制の整備

に取り組んでいることなどが高く評価されたものです。

今回の受賞を受け、今後益々高山小学校の教育活動が向上し、そこで学ぶ子どもたちにとって、より良いICT教育が推進されることをご期待しご報告いたします。



高山小学校 荒木校長

## 学校と地域の連携した活動が認められ 文部科学大臣表彰を受賞しました

高山村では、令和3年度より地域とともにある学校「コミュニティ・スクール」として学校と地域が連携・協働し、一体となって子ども達の成長を支えています。今年度も農業体験学習や職場体験学習、地域学習、日頃の見守り活動などでたくさんの地域の方に子ども達の教育に携わっていただきました。この度、その「コミュニティ・スクール」の活動が全国的にも模範であると認められ

「文部科学大臣表彰」を受賞しました。2月3日(金)の表彰式には、この活動を中心的に進めていただいている地域コーディネーターの平形佐和美様为代表してご出席いただきました。これからも地域とともにある学校、学校を核とした地域づくりの推進に村民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



平形地域コーディネーター

2/4

## 吾妻郡小・中学生 卓球大会結果

2月4日(土)中之条町総合体育館において、第35回吾妻郡小・中学生卓球大会が開催され、スポーツ少年団卓球部からは小学生の部に6名、中学生の部に2名が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの大会でしたが参加した子供達は試合が出来た喜びを感じ、楽しく試合をしてきました。結果は次のとおりでした。

男子

4年生以下の部

準優勝 千葉 鳳雅

6年生の部

準優勝 千葉 珀虎

女子

5年生の部

準優勝 石坂 愛絆

6年生の部

準優勝 都筑 未来  
第3位 後藤咲耶花

今回の大会は子供達の成長や意欲の向上に對外試合の出来ることの必要性を実感する大会でした。

スポーツ少年団卓球部は、小中学生がスポーツを通じて身体を動かし、楽しく・仲良く友達作りが出来よう活動していきたくと思っています。

体験入部も出来ます。加入を希望する人は高山村教育委員会(☎0279・63・3046)で申し込みしてください。スポーツ少年団卓球部



## 連携協定の締結式が行われました

村では、1月19日に第一生命保険(株)群馬支社と、1月23日に東京電力パワーグリッド(株)渋川支社と、2月10日に群馬ヤクルト販売(株)と協定を締結しました。

第一生命保険(株)群馬支社及び群馬ヤクルト販売(株)の協定は、健康増進・子育て支援・高齢者支援・スポーツ振興・村のPRなど、多岐にわたり包括的連携を図り、活力ある個性豊かな地域社会の発展・充実、村民福祉がより一層向上することにより、相互の発展に資することを目的としています。

また、東京電力パワーグリッド(株)渋川支社との協定は、再生可能エネルギーなどの利活用や、脱炭素に向けたエネルギーの転換などを断続的に推進することで、脱炭素社会・循環型社会の実現に資することを目的としています。



第一生命保険(株)群馬支社



東京電力パワーグリッド(株)渋川支社



群馬ヤクルト販売(株)



2月2日に豆まき集会を行いました。5歳児が自作の鬼の装束で、鬼の役をしました。3、4歳児の子どもたちは、鬼を追いかけて大はしゃぎでした。病気やけが等がなく、元気に園生活ができるよう豆をまきました。

2/2  
豆まき

### たかやまこども園

1月24日(火)、中之条合同庁舎において、あがつま女性農業会議講習会  
女性講習会が開催され、高山村の農村生活アドバイザーの金岡和佳子さんが講師となり草木染め体験を行いました。  
今回は「初春の色を染めよう」というタイトルで梅の木を煮出した染液につけ、媒染剤として、銅・鉄・アルミニウムを用いてそれぞれ染める体験になりました。あがつま郡内の女性農業者15名の参加で、賑やかに開催され、体験されたみなさんは、出来上がった作品をとっても喜んで持ち帰っていました。

1/24

### あがつま女性農業会議講習会



あがつま女性農業会議による

### 映画館ごっこ

冬休みの最後の日に「映画館ごっこ」と称して、子どもたちの日常の様子を撮影した映像をみんなで鑑賞しました。臨場感たっぷりの映像に、子どもたちは大喜びでした。こんな手作りの映画をまた、見たいですね。当日、

見られなかったお友達のために再度、視聴する機会をもちたいと思います。

